



## 議題 2

報道機関 各位

記者発表資料  
平成30年1月29日(月)  
問い合わせ先：教職員人事課  
担当：長井・田中  
電話：829-1654  
内線：4045

### 学校の働き方改革について

さいたま市教育委員会では、教職員の多忙化解消のため、学校における業務改善に向けた方策の検討を行っております。

その中で、教員等の勤務に関する意識調査を実施しました。

今回、その調査結果を取りまとめましたので、学校における働き方改革の検討状況とあわせてお知らせします。

#### 記

- 1 さいたま市教員等の勤務に関する意識調査
  - (1) 実施時期  
平成29年11月
  - (2) 調査対象者  
さいたま市立小・中・高等・特別支援学校に勤務する校長と教員※  
5, 326人  
※教員とは、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭をいう。
  - (3) 調査内容
    - ① 教員という仕事に対するやりがいや満足感について
    - ② 校務に対しての負担や多忙感について
- 2 働き方改革に向けた取組
  - (1) 夏季休業中の学校閉庁日の設定
  - (2) 教育委員会から学校への調査等の削減、簡素化
- 3 今後の検討事項
  - (1) タイムカード導入に向けた検討
  - (2) 部活動指導員の配置に向けた検討
  - (3) さいたま市学習状況調査の採点業務外部委託に向けた検討
  - (4) 夜間、休日等における電話自動音声ガイダンスの導入に向けた検討
  - (5) 給食費の公会計化に向けた検討

## 議題2

# 学校の働き方改革について

さいたま市教育委員会

# 学校の働き方改革について

～負担や多忙感を解消し、  
やりがいや満足感があふれる  
持続可能な職場へ～



さいたま市教育委員会

# 1 学校における働き方改革に係る緊急提言

**学校における働き方改革に係る緊急提言** 平成29年8月  
(中央教育審議会初等中等教育分科会・学校における働き方改革特別部会)

- 新学習指導要領の確実な実施
- 教員の長時間勤務の実態は看過できない状況
- 教員が授業や授業準備に集中できる環境の構築

**学校における働き方改革に関する緊急対策** 平成29年12月  
(文部科学省)

- 基本的には学校以外が担うべき業務
- 学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務
- 教師の業務だが、負担軽減が可能な業務

**喫緊の課題**

今できることは直ちに行う！！

## 2 教員等の勤務に関する意識調査

実態把握が必要

教員等の勤務に関する意識調査の実施

### 1 実施時期

平成29年11月

### 2 調査対象者

さいたま市立小・中・高等・特別支援学校に勤務する校長と教員※5,326人

※教員とは、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭をいう。

### 3 調査内容

#### (1) 教員という仕事に対するやりがいや満足感について

- ・教員という仕事にやりがいや満足感を感じていますか。
- ・やりがいや満足感を感じたのはどんなときですか。

#### (2) 校務に対しての負担や多忙感について

- ・負担や多忙感を感じていますか。
- ・それぞれの校務についてどのくらい負担を感じていますか。

### 4 回答率 約78.0%(4,154人／5,326人)



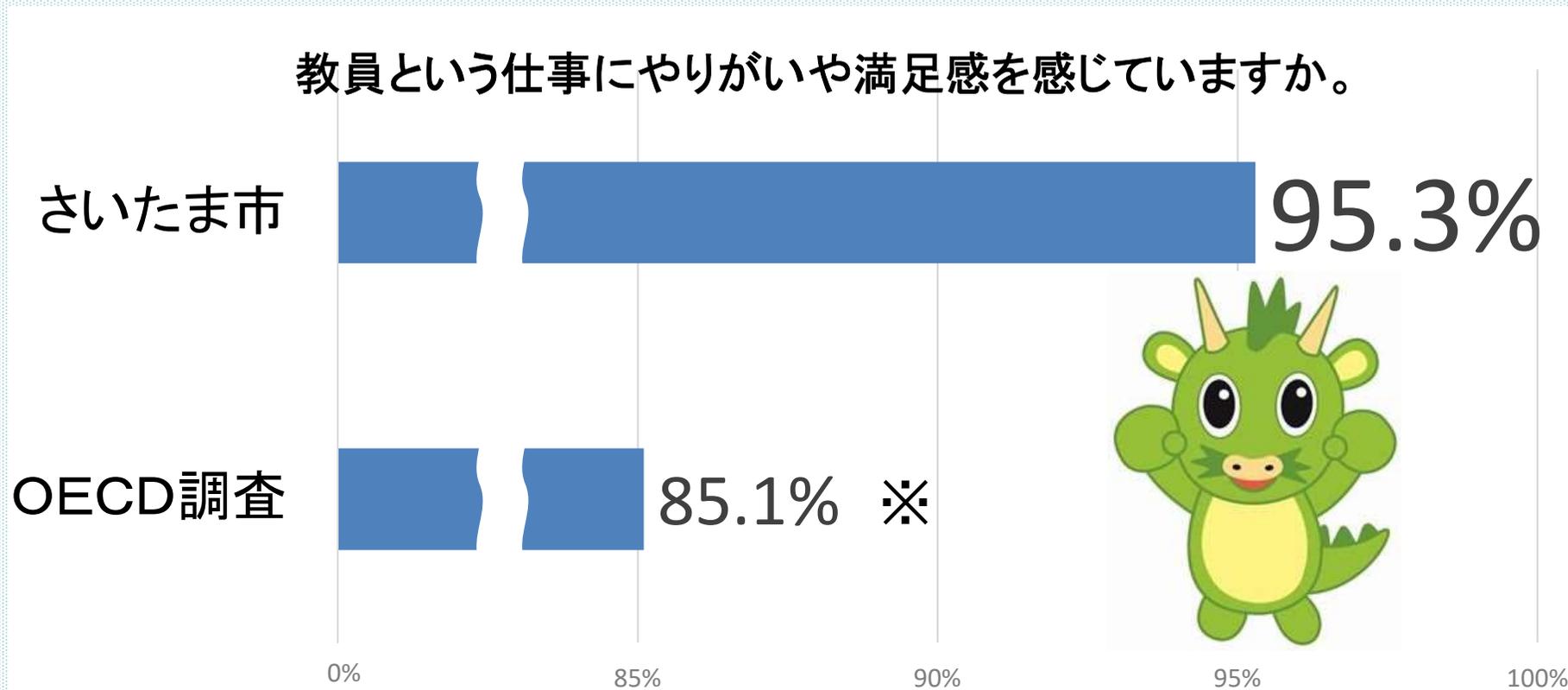
### 3 調査① 教員という仕事に対するやりがいや満足感

Q. 教員という仕事にやりがいや満足感を感じていますか。  
【単一回答】

A. 回答項目 「感じている」  
「感じていない」

### 3 調査① 教員という仕事に対するやりがいや満足感

#### 回答結果(全職種)



※OECD国際教員指導環境調査(TALIS2013)より「当てはまる」「非常に良く当てはまる」と回答

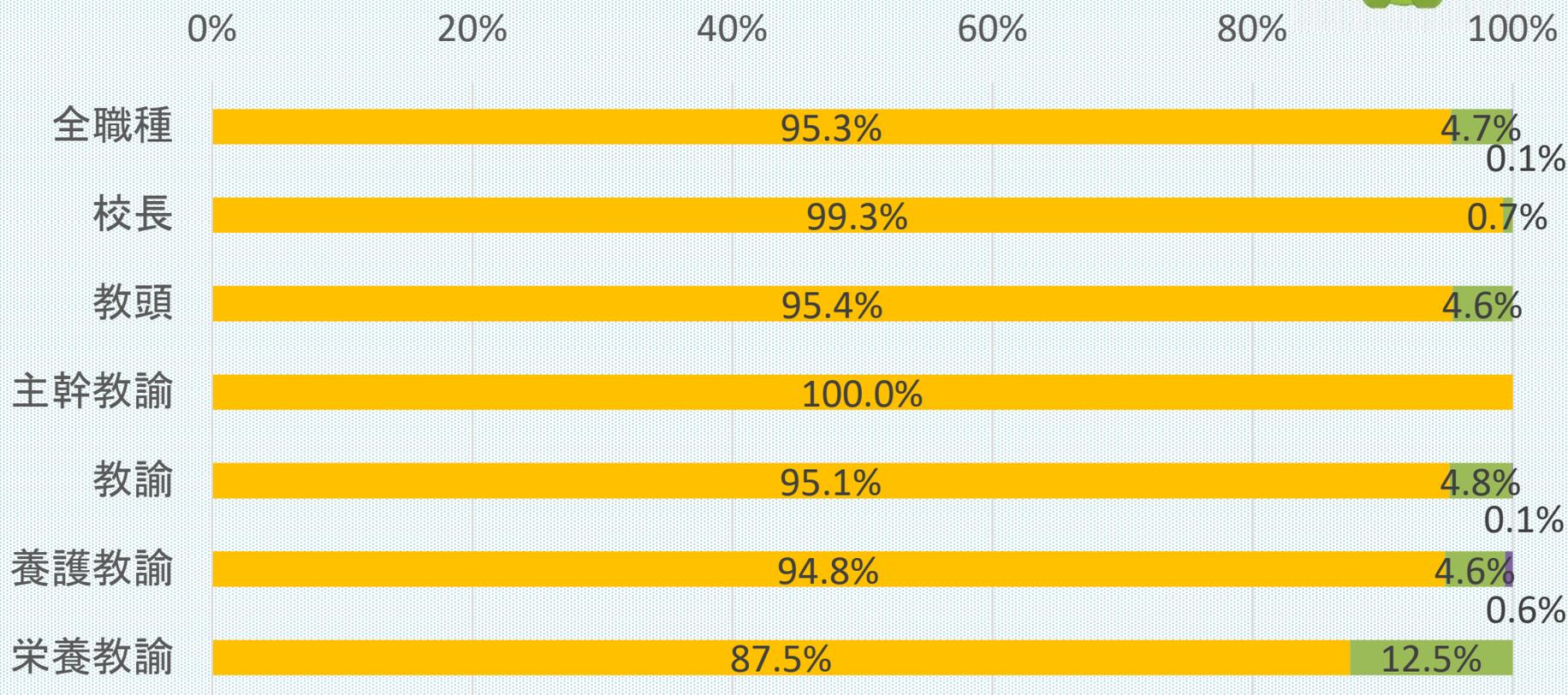
Q 全体としてみれば、この仕事に満足している

A まったく当てはまらない、当てはまらない、当てはまる、非常に良く当てはまる【単一回答】

### 3 調査① 教員という仕事に対するやりがいや満足感

#### 回答結果(職種別)

教員という仕事にやりがいや満足感を感じていますか。



■ 感じている ■ 感じていない ■ 無回答

※ 四捨五入の結果、各々の項目の数値の和が100%にならない場合があります。

### 3 調査① 教員という仕事に対するやりがいや満足感

Q. やりがいや満足感を感じたのはどんなときですか。

【やりがいや満足感を感じていると回答した者のみ、複数回答可】

#### A. 回答項目【19項目】

- ・教職員から信頼されていると感じたとき
- ・児童生徒に学力が身についたと実感したとき
- ・会議等で議論ができたとき
- ・他の教職員と協力して校務を行うことができたとき
- ・部活動の大会やコンクール等で練習の成果を発揮できたとき
- ・保護者や地域から感謝されたとき
- ・よい学校(職員室・学年・学級・保健室・給食室等)運営ができたとき
- ・自分の提案が採用されたとき
- ・地域の活動に貢献できたと感じたとき
- ・児童生徒と協働して成果をあげたとき
- ・校務分掌を成し遂げることができたとき
- ・研修を通して、自分が成長したことを実感できたとき
- ・文書作成や会計等、事務を処理することができたとき
- ・設定した目標を児童生徒が達成したと実感できたとき
- ・保護者と信頼関係を築けたとき
- ・緊急対応を終えたとき
- ・児童生徒から感謝されたとき
- ・児童生徒によい変容が見られたとき
- ・成績処理が終わったとき

### 3 調査① 教員という仕事に対するやりがいや満足感

#### 回答結果 やりがいや満足感を感じたとき(上位3つ)

職 種	1位	2位	3位
校 長	教職員から信頼されていると感じたとき(88.8%)	よい学校(職員室・学年・学級・保健室・給食室等)運営ができたとき(82.8%)	保護者や地域から感謝されたとき(79.9%)
教 頭	教職員から信頼されていると感じたとき(81.5%)	保護者や地域から感謝されたとき(74.6%)	よい学校(職員室・学年・学級・保健室・給食室等)運営ができたとき(73.4%)
主幹教諭	児童生徒に学力が身についたと実感したとき(86.1%) 教職員から信頼されていると感じたとき(86.1%)		他の教職員と協力して校務を行うことができたとき(80.6%)
教 諭	児童生徒に学力が身についたと実感したとき(79.2%)	児童生徒により変容が見られたとき(68.1%)	児童生徒と協働して成果をあげたとき(65.8%)
養護教諭	教職員から信頼されていると感じたとき(69.9%)	児童生徒により変容が見られたとき(68.8%)	他の教職員と協力して校務を行うことができたとき(65.9%)
栄養教諭	他の教職員と協力して校務を行うことができたとき(71.9%)	よい学校(職員室・学年・学級・保健室・給食室等)運営ができたとき(68.8%)	児童生徒により変容が見られたとき(65.6%)
全職種	児童生徒に学力が身についたと実感したとき(74.4%)	児童生徒により変容が見られたとき(67.7%)	児童生徒と協働して成果をあげたとき(63.8%)

### 3 調査② 校務に対しての負担や多忙感

Q. 負担や多忙感を感じていますか。【単一回答】

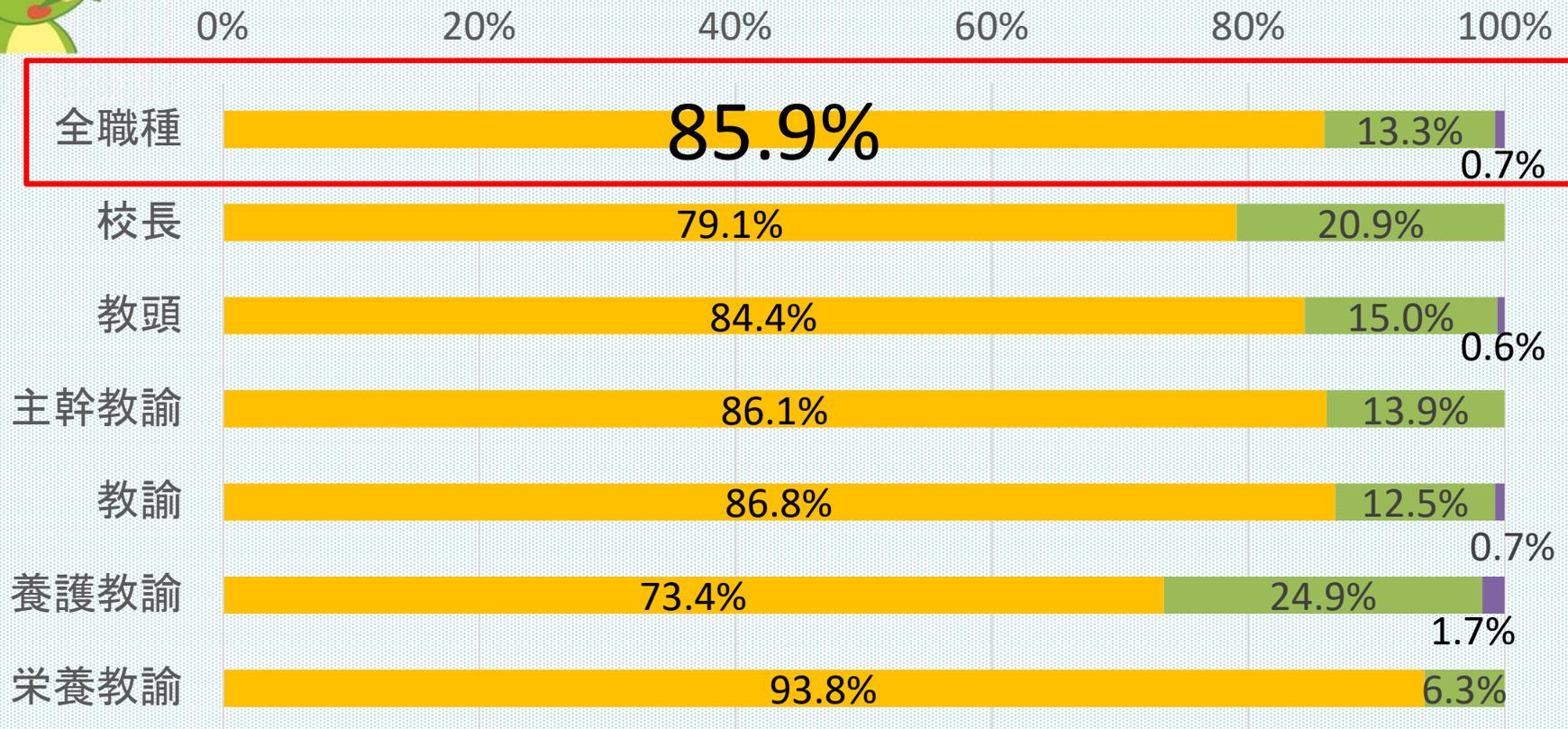
A. 回答項目 「感じている」  
「感じていない」

### 3 調査② 校務に対しての負担や多忙感

#### 回答結果 職種別



負担や多忙感を感じていますか。



■ 感じている ■ 感じていない ■ 無回答

※ 四捨五入の結果、各々の項目の数値の和が100%にならない場合があります。

### 3 調査② 校務に対しての負担や多忙感

Q. 次の校務について、どのくらい負担を感じていますか。

【単一回答】

- ・朝の業務
- ・授業
- ・授業準備
- ・学習指導
- ・成績処理
- ・生徒指導【集団】
- ・生徒指導【個別】
- ・部活動
- ・児童会/生徒会指導
- ・学校行事
- ・学年/学級経営
- ・学校経営
- ・会議/打ち合わせ(校内)
- ・事務/報告書作成
- ・校内研修
- ・保護者/PTA対応
- ・地域対応
- ・行政対応/関係団体対応
- ・校務としての研修
- ・会議/打ち合わせ(校外)
- ・その他の校務

21の校務

A. 回答項目

「とても負担に感じている」

「少し負担に感じている」

「あまり負担に感じていない」

「全く負担に感じていない」

「職務にあてはまらない」

### 3 調査② 校務に対しての負担や多忙感

#### 回答結果 負担に感じている校務(上位3つ)

※ 「とても負担に感じている」・「少し負担に感じている」回答割合を合算

職 種	1位	2位	3位
校 長	地域対応(68.7%)	事務/報告書作成(67.9%)	会議/打合せ【校外】 (61.2%)
教 頭	事務/報告書作成(89.0%)	保護者/PTA対応(74.0%)	地域対応(73.4%)
主幹教諭	事務/報告書作成(88.9%)	学校経営(69.4%) 会議/打合せ【校内】(69.4%)	
教 諭	成績処理(82.7%)	事務/報告書作成(72.9%)	保護者/PTA対応(67.5%)
養護教諭	事務/報告書作成(67.1%)	生徒指導【個別】(65.9%)	学校行事(61.3%)
栄養教諭	生徒指導【個別】(84.4%)	事務/報告書作成(78.1%)	学年/学級経営(59.4%)
全職種	事務/報告書作成(73.4%)	成績処理(73.3%)	保護者/PTA対応(66.4%)

### 3 調査のまとめ

やりがいや満足感を感じている

95.3%

負担や多忙感を感じている

85.9%

やりがいや満足感

日本型学校教育の長所

質の高い教育

を保ってきた現状

負担

やりがい  
満足感

多忙感

### 3 調査のまとめ

しかし・・・

校長・教員のやりがいや満足感  
に依存した教育が限界に



「日本型学校教育」の良さを維持しつつ、  
質の高い学校教育を持続発展させるため、  
負担や多忙感を解消し、やりがいや満足感  
があふれる持続可能な職場へ！！

## 4 学校における働き方改革に向けた取組

- ・夏季休業中の学校閉庁日の設定

※平成30年度は、8月13日(月)～15日(水)の3日間の予定

- ・教育委員会から学校への調査等の削減、簡素化

学校における働き方改革  
今できることは直ちに行う

## 5 今後の検討事項

- ・タイムカードの導入に向けた検討
- ・部活動指導員の配置に向けた検討
- ・さいたま市学習状況調査の採点業務外部委託に向けた検討
- ・夜間、休日等における電話自動音声ガイダンスの導入に向けた検討
- ・給食費の公会計化に向けた検討

学校における働き方改革  
業務改善に向けた方策の検討を  
行っていきます

## 6 学校における働き方改革

### 狭義の働き方改革

今できることは直ちに行う。  
準備ができたところから必ず  
対応する。

### 広義の働き方改革

「未来を生きる子どもたちの  
ために我々の働きぶりはこれ  
でよいのか」という本質に迫  
る議論をし、「広義の働き方  
改革」方策を見出していく。



それぞれの学校の課題とビジョンを明確化し、  
本当に大切な業務に全力を尽くす

教育の質は落とさずに、  
学校における働き方改革を推進します。

## 7 学校業務改善検討委員会

### 学校業務改善検討委員会

#### 業務改善策の検討

平成30年3月末にリーフレット発出予定

教育委員会と学校が一丸となり、「チームさいたま市」  
として学校の働き方改革を推進